

今、大切なのは信頼感ある  
大人のテイスト

10月  
オトナが読める  
ファッション&  
ライフスタイルマガジン  
**UOMO**

2011 OCTOBER  
定価780yen  
<http://uomo.shueisha.co.jp/>

●今月のカバー  
大沢たかお

ボリオリ新ラインと  
UOMOがSUPERコラボ  
**チャリティ  
ジャケット完成!**

モードな誘惑  
**レザー×大沢たかお**  
メゾン マルタン マルジェラ  
ロエベ／マーク ジェイコブス  
ドルチェ&ガッバーナ／グッチ

**男の京都**  
ひとりめし  
ひとり呑み

必ず喜ばれます!  
**格上げおもたせ**

高感度&好感度UP!

**秋のジャケット**  
**知的装い新ルール**

知的に見えるグレーの着こなし／ひと味違うカーゴパンツ&チノパンツ／  
優しさ漂うハイゲージニット／控えめジュエリーが今、気分

1. アクセサリーとしての  
効果も考慮した筆記具選び  
出張の際はモンブランのボール  
ペン(写真左)をメインに使用。  
「モンブランは何本か持っていますが、私の手にはこのスター  
ウォーカーがしつくりきます。中空に浮かぶホワイトスターは、胸ポケットに差したときさり気  
ないアクセントにもなります」。  
パークーのボールペン(写真右)  
は古い友人から贈られたもの。  
「クラシックなデザインが気に  
入って7年使ってますが、使  
うほどに愛着がわきますね」。



### 3. ステファノ・ビジ カフリンクス



### 2. ベスパ クラッチバッグ

「素材に使われているカーフは肌に  
吸いつくよつですし、カードを取り  
出しやすいよう、デザインにもより  
かない工夫が凝らされています」。

よい仕事をする男は、  
高い美意識をそなえる  
**エグゼクティブ  
の愛用品**  
第13回

撮影/林 敏一郎(Forest)  
取材・文/押条良太(押条事務所)

## ウエスト ポイント社長 ステファノ・ ビジさん

1966年ミラノ生まれ。高校卒業後、兵役を経て、英国のカシミヤ生地メーカーに就職し、経験を積む。その後'90年に祖父が創業したウエストポイント社に入社し、'95年に3代目社長に就任した。彼の名前がつけられたステファノ・ビジは老舗タイメーカー、ウエストポイント社のオリジナルブランド。今なお工程はハンドメイドで行われるなど高い品質で知られ、クラシックとトレンドのバランスのとれたデザインは、世界中の服好きから高い支持を得ている。

感覚に響く  
“心地よさ”を  
重視したもの選び

### 1. モンブランとパークー ペン



ステファノ・ビジさんが身の回りのものを選ぶ基準は、実にはつきりとしている。「使い心地がよいものかどうか」だという。例えば、セッティエリゲのタイ。

「セッティエリゲ（アツ折り）のタイはノットがふんわりとした表情に仕上がり、美しいデザインブルができるという美点が知られていますが、私が気に入っている点はちょっと違います。私はよくベスパに乗りますが、加速するとタイは風を受けてはためきます。セッティエリゲは、そのはためく感触までが心地よいんです」。くたびれてくると再び同じものを作り、20年近く愛用している。

ビジネス道真にも心地よさを追求する。モンブランとパークーのペンは、程よい重量感と滑るような書き味が気に入つて長年使用している。出張の際に必ず持っていくといふスバのクラッチバッグも、ソフトラッキンガム素材の手刷染みのよさと軽量性が気に入っている。エルメスのカードケースは、5年前の誕生日に奥様から贈られたもの。

「素材に使われているカーフは肌に吸いつくよつですし、カードを取り出しやすいよう、デザインにもよりかない工夫が凝らされています」。

7. シンプルデザインで  
使い心地と機能性も抜群

「昔はカードケースにそれほどこだわっていなかったのですが、名刺交換が重要な意味をもつ日本で仕事をするようになって、質の高いものを持つようになりました。今使っているのは妻から贈られたエルメスのカードケース。飽きのこないシンプルなデザインも魅力的ですが、使い心地も抜群。穴から中のカードを押せば、スマートに取り出せるんですよ」。最高級カーフのしっとりとした肌触りも極上だ

6. 暖もりが感じられる  
昔ながらの手作りタイ

イタリア語で「7つ折り」という意味をもつセッティビエゲのタイ(写真左)は、通常の倍近い生地が使用される高級タイの代名詞。「見えないとこだわるダンディズムというよりも私は純粹に締め心地が好きですね。夏場はシルクのフレスコ織りのタイ(写真中央)が最高です」。普段からネイビーのタイをよく使うという。(右から)¥13,650・¥15,750・¥18,900 ステファノビジ(バインド ピーアール)

5. 気品と風格を兼ね備えた  
名作ウォッチ

愛用の時計はジャガー・ルクルトを代表する自動巻きの3針モデル「マスタークロントロール」。4年前、結婚の記念に贈られた宝物だ。「お互いにプレゼントを贈ることになり、私はジャガールクルトを妻に贈ったんです。すると彼女も偶然同じブランドの時計を私に贈ってくれたんです! マスタークロントロールはシンプルながら独特の存在感がある。スーツにもカジュアルにもマッチする点がいいですね」

4. 週末は美しい湖畔を  
ペスバでゆっくり流す

名車と名高い78年式の「チングアンタ スペシャル」は、5年前の誕生日に自分へのご褒美として購入。「子どものころからずっと憧れ続けていた夢の一一台でした。5年前、街で運命の出会いを果たし、ついに手に入れました。週末は湖の周囲をこれで走り回るんです」。彼の言う湖とは、ミラノから車で約1時間の距離にあるマジョーレ湖のこと。後は週末になると、湖のほとりにある父が残した別邸で過ごす

3. 手元に気品を添える  
ブラウンマーブルの石

アフリカ内陸部の国・ボツワナで授かるアゲートという石を使ったカフリンクスは、以前ステファノビジで展開されていたアイテム。「石付きのカフリンクスはたくさん持っていますが、ついこのアゲートを手に取ってしまいますね。落ち着いたブラウンとマーブル模様がとてもエレガント。今日は時計のベルトと靴の色に合わせてコーディネイトしました。存在感があるのに合わせやすい点も魅力です」

2. 15年にわたり使い続ける  
旅に欠かせぬ相棒

'96年に開催されたペスバ創立50周年パーティに出席した際、お土産にもらったクラッチバッグ。「出張の際は必ずスーツケースに入れてきます。レザー製のクラッチバッグもいいですが、やはり軽さを考えるとこれに落ち着きます。ポケットが多く、整理して収納できる点もいいし、クッション素材なのでデジタルガジェットをしっかり守ってくれます。それに何といっても大好きなペスバのものですから」



6. ステファノ ビジ  
タイ

7. エルメス  
カードケース

### ステファノ ビジの スイムウェア

彼によると、「12年春夏シーズンにはブランド初となるスイムウェアが登場すること。今回、サンプルを見せてもらつたが、生地は撥水性に優れ、肌触りのいいポリアミドで、はき心地も抜群。柄も写真のバティック柄をはじめ、大人っぽいものが豊富にラインナップされる。また共地のケースが付属するのもうれしい限り。来年の夏が待ち遠しい!」

周囲を寛がせ、楽しい気分にさせる彼の人柄には、こうした愛用品も一役買っているのかもしれない。

彼は人目だけでなく、自分の心への作用も考えたもの選びを心がけて

いる。「身につけるものは自分の心にも大きな影響を及ぼします。だから私は、視覚以外でも心地よさを感じさせてくれるもの身の回りに置くようにしているんです」。

カフリンクスや時計を見ればわかるが、装飾品はシックなデザインですが、クラシックトレンドのバランスがとれたデザインに惹かれます」。確かに彼の作るタイは、イタリアらしいトレンド性や艶を備えつつも、華美な印象はなく、どこかクラシックな重りを感じさせるものが多い。「心地よいものは当然長く使いたい。合わせやすく、トレンドにも左右されにくいデザインなら、ずっと身につけられますから」。